

千葉県指定有形文化財三菱銀行佐原支店旧本館保存修理

実施設計技術支援者選定プロポーザル講評

香取市は、大正3年に川崎銀行佐原支店として建設された千葉県指定有形文化財三菱銀行佐原支店旧本館の耐震化及び老朽化等の理由による保存修理工事着手に向けた事業を進めており、平成26年度は耐震診断業務を行い、平成27年度には基本設計を行った。

その結果、指定文化財建造物であることを踏まえ、内外観の意匠や材料・工法を極力保存する目的で、煉瓦壁の上端から下端まで削孔し、プレストレスコンクリート鋼棒を通して煉瓦に圧縮力を加える手法（以下「PC補強工法」という。）の採用を決定した。

煉瓦造建物のPC補強工法は施工事例が全国的に極めて少ないこと、高度な施工技術及び仮設計画が必要とされることから、公共工事の品質確保の促進に関する法律（平成17年3月法律第18号）に基づき、設計段階から施工者が関与する方式であるECI（Early Contractor Involvement）方式を採用し、実施設計技術支援者（施工予定者）を公募型プロポーザルにて選定を行った。

選定にあたっては、市及び設計者とスムーズな連携を図れる実施方法、煉瓦造建物の耐震・修理等の技術的検討及び確実な施工体制、文化財としての本建物への理解度、PC補強工法という特殊な手法に対する技術的所見、創建当初に復原する上での課題や安全面に対する配慮等について提案を求め、ヒアリング審査を行った。

参加表明は1社から提出され、参加資格要件を満たしていることから、技術等提案審査に進むものとして選定した。その後、同社から技術等提案提出書が提出された。

技術提案書提出者については、文化財建造物の価値を損なうことなく、確実な施工と品質の確保を求めた本プロポーザルの目的をよく理解された技術提案がなされていた。PC補強工法の施工に際し、より建物の損傷を抑えた新工法の提案や、創建当時へ復原するための検討プロセス、隣接する町並み交流館や周辺にも配慮された安全対策及び仮設計画など、高度な技術提案を踏まえた実施設計が期待できるものであった。